

平成27年7月11日土曜日 2限目 13:30~14:00
夢ナビライブ2015東京会場

口の中から健康を考えよう！

埼玉県立大学保健医療福祉学部
健康開発学科口腔保健科学専攻
講師 新井 恵

口腔保健学（歯科衛生学）とは

口の中を通して、その人の全身や生活習慣に科学的思考をもってアプローチし、生涯にわたって健康をサポートする

全てのライフステージの人が対象

歯科衛生士が、歯科疾患の予防処置、歯科診療の補助および歯科保健指導を中心とした歯科衛生業務を専門職として実施するために理論的・実践的根拠となる学問体系

最新歯科衛生学総論 医歯薬出版株式会社より

歯科衛生士とは

歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図ることを目的として、人々の歯・口腔の健康づくりをサポートする国家資格の専門職

口の病気と全身の健康の関連

むし歯

むし歯の原因となる細菌によって歯が脱灰される病気



児童虐待（育児放棄 ネグレクト）と関連があるのでは？

「東京都では二〇〇二年に都歯科医師会の協力で被虐待児童の口腔内検診を行いました。

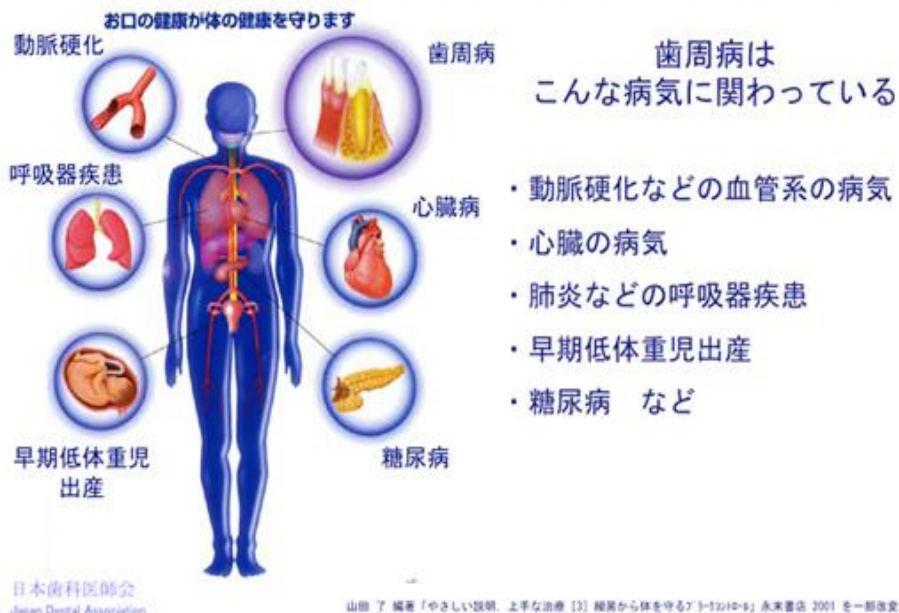
ゼロ歳から十二歳までの百七十人の被虐待児童と一般の児童を比べたところ、一人平均の虫歯の数は三倍以上で、治療率は二～三割以下という結果でした。」

歯周病

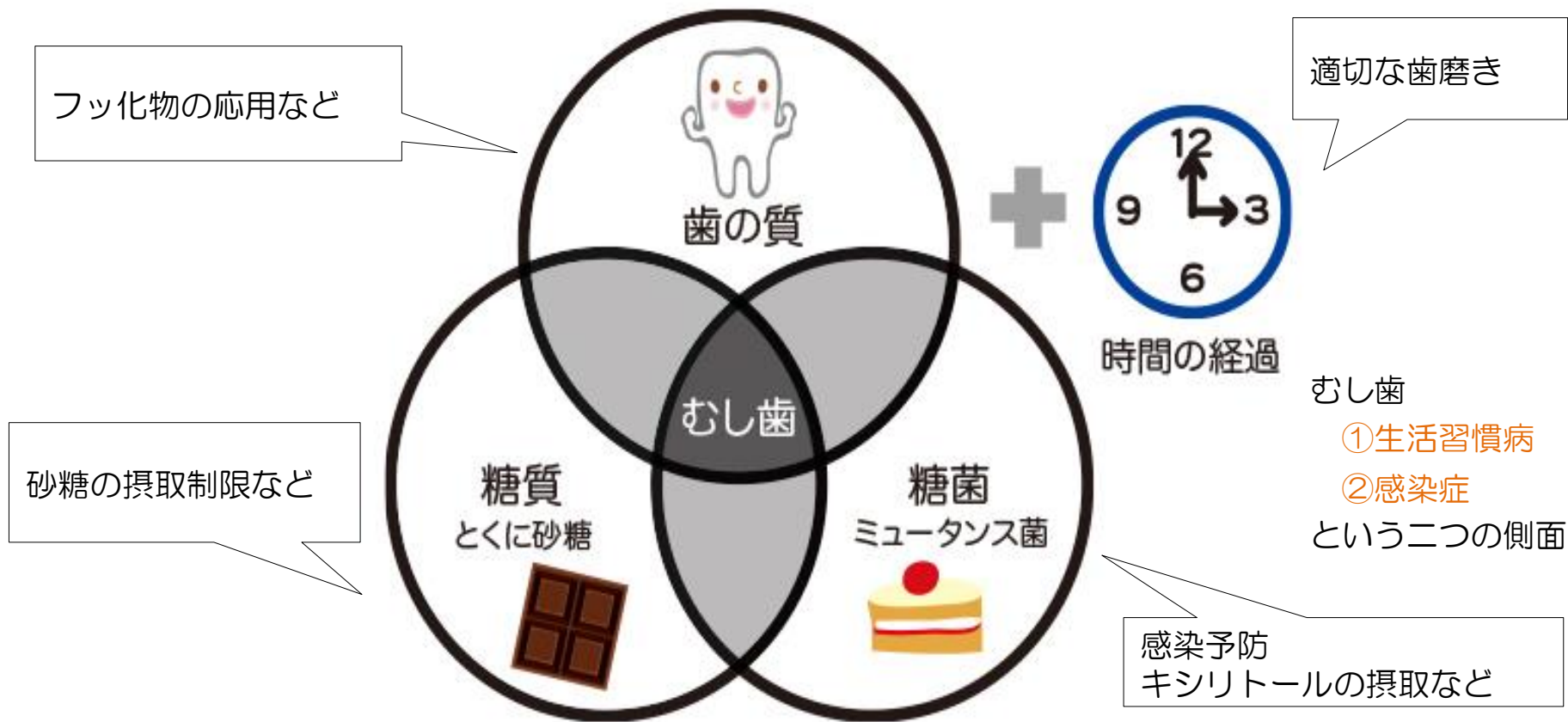
歯を支える歯ぐきや歯槽骨が壊されていく病気



歯周病が全身に及ぼす影響



むし歯の原因となる3つの要素



ライフステージ

幼少期（生えたての歯はまだ弱い・飲食回数が多くなる）

中高生（不規則な食生活）

妊婦（つわりがひどくて十分な歯磨きができない）

高齢者（歯の根元が見えてくる）

全身の健康状態

病気の有無・ストレス・薬の服用

患者や家族の協力度

食生活・食習慣

ミュータンス菌とキシリトール

ミュータンス菌は砂糖を餌にして、仲間を増やし、酸を作り出して歯を溶かす=むし歯!!!



1 ミュータンス菌がキシリトールを取り込む



2 ミュータンス菌はキシリトールを自分のエネルギー源としてつかえませんが



3 それでもミュータンス菌はキシリトールを取り込みつづける



4 ミュータンス菌はキシリトールを取り込むことをくりかえし、エネルギーを消費。そのうちヘトヘトに疲れてミュータンス菌の数が減っていきます

キシリトール製品の選び方

①キシリトールに含有量が書いてあるか探す



②含有量が書かれていない場合

【例1】栄養成分表 (1パック21g当り)

炭水化物	16.9g	キシリトール	9.0g
		糖 類	0g

$\frac{\text{キシリトールの量}}{\text{炭水化物の量}} \times 100$
 $\frac{(9.0\text{g})}{(16.9\text{g})} \times 100$
=キシリトールの入っている割合 (約53%)

【例2】栄養成分表 (1パック153.0g当り)

炭水化物	118.6g		
糖 類	0g	キシリトール	118.6g

$\frac{\text{キシリトールの量}}{\text{炭水化物の量}} \times 100$
 $\frac{(118.6\text{g})}{(118.6\text{g})} \times 100$
=キシリトールの入っている割合 (100%)

口腔保健学を学ぶと・・・



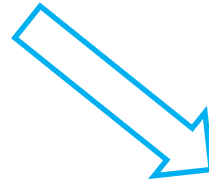
歯ぐきから血が出る

妊娠中だけどむし歯の治療をしても大丈夫？

何度もむし歯になる

口がくさい

歯並びが気になる



支援するために必要なこと

- 知識
- 介入するための技術
- コミュニケーション能力
- 情報収集能力
- 情報提供能力など



科学的思考をもって支援する

対象となる方の情報を収集する

↓
問題点を整理する

↓
課題を抽出する

↓
介入方法を考える

↓
介入する

↓
本当によくなった？
よくなった！

☆口腔保健学は学んだことが
職業に直結しやすい！

☆全てのライフステージに
関わることができます！

口腔保健学を学んで、国民の健康増進に貢献しませんか？

大学のキャンパスで共に学べる日を楽しみにしています！